



SST（桜っ子サポートチーム）総会

15日木曜日は、午後から今年度最初の授業参観とSST総会を実施しました。ご多様な中、学校に足を運んでいただいた保護者の皆様、ありがとうございました。新年度がスタートし、約1か月半が経過しましたが、授業での子供たちの様子はいかがだったでしょうか。

SST総会で、保護者の皆様に次のようなお話をさせていただきました。



新年度がスタートし、1か月以上が経過しましたが、ご家庭でのお子様の様子はいかがでしょうか。学校の方は、来る5月25日の運動会に向けて、練習にも一段と熱が入ってきています。今、学校は、とても活気づいており、それぞれの学級、学年の子供たちが、自分たちが立てた目標の達成に向かって力を合わせています。この運動会の取り組みを通して、子供たちの仲間づくりが進み、学校がより結束した集団になっていければと思っています。保護者の皆様には、練習等で疲れて帰ってくる子供たちに、励ましのお声掛けをしていただいています。保護者の皆様のバックアップ、いつもありがとうございます。

さて、今日は、せっかくお時間をいただきましたので、私の方から、「今年度本校が目指していること」と「保護者の皆様へのお願い」という内容で、少しお話をさせていただこうと思います。限られた時間ですので、できるだけ簡潔にお話をさせていただきます。よろしくお願いします。

まず、今年度本校が目指していることについてです。

学校教育目標、「自ら学び 自ら考え 自ら行う」これは本校が開校した時から変わっておりません。本校が目指しているのは、一言でいうと自立する子供の育成です。人と人とがふれあう社会生活の中で、よりよいと考えられることを自分で決め、行動できる。これが、本校の学校教育目標です。「社会の中での自立」を目指しますので、自ら考え自ら行うといっても、「人に迷惑をかけない」ということが前提となります。「人に迷惑をかけないことを踏まえて、自ら学び 自ら考え 自ら行う」自立した人に育てたい、これが、本校の目標です。

この学校教育目標を受け、具体的な目指す子供像を3つ設定しています。一つ目が、「よく考え工夫する子供」これは主に自立をイメージしたものです。二つ目は、「助け合い励ましあう子供」これは主に共生をイメージしたものです。三つめは、「明るくたくましい子供」これは心と体の健康をイメージしたものです。自立、共生、健康。このような子供を育てることを目指し、子供たちに指導していきます。

今、子供の抱える課題は、多様化、複雑化してきていると言われています。こんな中、学校の教育活動を進めていくうえで重要なことは、学校の先生同士、先生と保護者との「チームワーク」です。子供を一人だけでなく、複数で見守り、指導していく体制をつくることです。そこで、本校では、学校経営方針を「チームになろう すべての子供の成長を支えるために」とし、次の5つの柱、1「大切なのは日々の授業」、2「みんなで楽しく学べる研修に」3「活気のある同僚性の高い職員室に」、4「働き方改革の積極的な推進」、5「保護者や地域の方々とのつながりを大切に」この5つを柱にした学校づくりを進めていこうと考えています。

また、ウェルビーイングの意識化が図れればと考えています。最近よく「ウェルビーイング」という言葉を見たり聞いたりするようになりました。国も、盛んにウェルビーイングを目指ししようと発信していて、今では、国の教育振興基本計画の柱の一つにもなっています。このウェルビーイングの意味は何かと言うと、well よい being 状態 つまり、「体と心と社会のよい状態」を指し、「幸せ」を意味する言葉です。慶応大学の前野隆司という先生は、「幸せはコントロールできる」とし、次の四つのことを意識することで、幸せはコントロールできると述べています。一つ目

は、「やってみよう！」これは「やってみたい」という気持ちをもって、自分を高めている」状態です。二つ目は「ありがとう！」「誰かのおかげで今の自分がいること、今何かができていることを考えられる」状態です。三つめは「なんとかなる！」「くよくよししないで、気持ちをきりかえて進む、あきらめないで前向きに進む」最後の四つ目は、「あなたらしく！」「人と自分を比べない、自分らしく生きる」「やってみよう」「ありがとう」「なんとかなる」「あなたらしく」常にこの四つのことを意識しながら、ウェルビーイングな学校づくりが進められればと思っています。

以上が、学校経営方針の概要となります。次に、「保護者の皆様へのお願い」です。今日は、一点だけお話しします。その一点というのは、学校とご家庭との一層の連携強化を図りたいということです。これは、もうすでに留意していただいていることかと思いますが、ご家庭で子供から知れた情報は、学校にお知らせいただきたいと思っています。学校でこんないいことがあった。こんなことを聞かれたら、ぜひ、担任にお知らせいただきたいと思っています。我々にとってみれば、さらなるモチベーションアップにもつながります。また、子供から、気になることを聞くこともあろうかと思っています。例えば、「～さんが困っている」などといった話ですね。学校に早くお知らせいただくことで、対応が早くでき、結果的に大事に至らなかったということも往々にしてあります。また、これは結構あるのですが、事実関係を子供が誤解している場合もあります。すぐにお知らせいただくことで、すぐに誤解を解くこともできます。

私たち学校の職員は、皆さんの子育てのパートナーだと思っています。学校において子供たちに楽しいこと、悔しいこと、我慢することたくさん経験させ、子供たちがそれらの経験から様々なことを学び、成長できるようにと願っていますが、何といても、子供の健やかな成長のためには、学校の職員と保護者の皆さんがよい関係を築くことが大切です。これは、言うまでもありません。

私たち学校職員と保護者の皆さんは、「子供を成長させたい、幸せに生きていけるようにしたい」という同じ願いを持っています。そして、学校の職員と保護者の皆さんは、子供たちを育てる上での車の両輪です。どちらが欠いてもいけませんし、違う方向を向いていてもいけません。学校では先生がこうしろと言う。家庭ではお家の人がこうしろと別のことを言う。子供への話が学校と家庭で違っては、子供はどちらに進んでよいのか分からなくなってしまいます。だからこそ、よい関係を築いていきたいのです。

「チームになろう すべての子供の成長を支えるために」SST 活動の活性化は、学校と保護者、保護者同士がチームになるきっかけを作ってくれと強く思っています。また、SST 活動は、私たち大人の学びと成長の場となり、それが子供の成長につながると思っています。ぜひ、この SST 活動の充実に向け、今後とも皆様のお力添えをいただければと思います。

この後、学校から職員紹介と年間の行事予定等について連絡をさせていただき、議事に入りました。

議事では、昨年度の事業報告、収支決算の後、今年度の役員案、事業計画・予算案などが承認されました。また、桜馬場中・片渕中・長崎中の統廃合計画についての話もあり、その計画の周知が図られました。

最後に、この総会をもって会長職を退任される西野会長が挨拶をされました。西野会長は、会長として5年、本部役員として11年もの長きにわたり、桜町小の子供たちのためにご尽力いただき、学校をしっかりと支えていただきました。その功績はとても大きく、言葉だけでは言い尽くせないものがあります。本当にこれまでお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。これからは、また違う立場から末永く桜町小を支えていただければと願っています。

